

『日米交流音楽会（後半）』

（2023年4月放送）

MC：○ この放送をお聞きの皆さんこんにちは。『防衛問答近中でごさる』、この番組は防衛省近畿中部防衛局の協力によりお届けします。今回は、前回に引き続き、近畿中部防衛局地方協力確保室のA室長にお越し頂き、先ごろ京丹後市で開催された「日米交流音楽会」の様相をお送りします。それでは、A室長、よろしくお願ひします。

A：○ 皆さんこんにちは。近畿中部防衛局のAです。今回もよろしくお願ひします。

MC：○ 前回の放送では、「日米交流音楽会」第一部での丹後吹奏楽団の演奏をお聞き頂きました。どれも素晴らしい演奏ばかりでした。今回は、第二部の在日米軍軍楽隊の演奏をお聞き頂きます。こちらもとっても楽しみです。それでは、A室長、在日米陸軍軍楽隊の紹介からお願ひできますか。

A：○ 分かりました。それでは演奏をお聞き頂く前に在日米陸軍軍楽隊について簡単にご説明します。

- 在日米陸軍軍楽隊は1941年にアメリカ合衆国ノースキャロライナ州キャンプデービスにおいて初めて編成されて以降、半世紀以上に及ぶ長い歴史を誇っています。
- 第二次世界大戦中は西太平洋方面作戦に参加し、現在では、正式名称を「在日米陸軍軍楽隊」として神奈川県に在りますキャンプ座間に拠点を置いて演奏活動を行っています。
- 軍楽隊は、軍内部での演奏に限らず、日本の方々や在日米国人のための日米公式行事や広報活動において様々な演奏活動を行っており、その活動範囲はキャンプ座間周辺に留まらず日本全国に広がっています。
- これまでに、日本武道館での「自衛隊音楽まつり」、宮城県の「仙台たなばた祭り」、北海道の「さっぽろ雪まつり」などの各地の大規模イベントでの演奏を行い好評を博しています。
- 軍楽隊には、隊員約40名が在籍しており、その中で中核となる「コンサート・バンド」をはじめ、今回出演の「パシフィック・ブラス」など8つのグループで構成されています。
- 行進曲やブロードウェイのヒット曲、ポップス、クラシック、ジャズや日本の楽曲など幅広いジャンルの音楽を幅広く手がけており、隊員が楽器の演奏のみならずソロヴォーカルも勤めるなどあらゆる年代の方々にお楽しみ頂いています。今回の音楽会でも楽器演奏のみならず、素晴らしいヴォーカルを披露してくれました。

MC：○ 軍楽隊というといついつい行進曲のような演奏をイメージしてしまいがちですが、幅広いジャンルの音楽を手かけているんですね。

A：○ そうですね。軍楽隊の多彩な音楽性は、隊員たちの多様な背景、教育、経験

から成り立っています。隊員の多くは大学での学位を持ち、中には入隊前に音楽の指導者やフリーランスでプロのミュージシャンをしていた隊員もいます。一般向けのCDなんかも発売しているんですよ。

MC : ○ まさに音楽のプロ集団なんですね。

A : ○ はい。今回出演の「パシフィック・ブラス」は、京丹後市での「日米交流音楽会」には初めての出演になりますが、ダイナミックで魅力的な演奏で知られ、行進曲やジャズ、クラシックなどの幅広いレパートリーをもち、地域のコンサートなど多様な要望にお応えできるグループです。

MC : ○ それは楽しみですね。早く聞きたくなってきました。

A : ○ それでは、前振りはこれくらいにして早速演奏をお聞き頂きましょう。

○ 曲目は、誰もが一度は耳にしたことがあるスウィング・ジャズの名曲、1939年にグレン・ミラーオーケストラの演奏により大ヒットし、グレン・ミラーオーケストラの代表曲となった「イン・ザ・ムード」を皮切りにマリリン・モンローの主演映画「お熱いのがお好き」に使用された軽快なスイングナンバー「スウィート・ジョージア・ブラウン」、ジャズのスタンダードナンバー「チュニジアの夜」、「リル・ダーリン」、アメリカンポップスやロックのヒット曲「あなたはしっかり私のもの」、「スウィート・チャイルド・オブ・マイン」、アメリカ人の愛国心の象徴ともいえる行進曲「星条旗よ永遠なれ」いずれも名曲ばかりです。在日米陸軍軍楽隊の迫力ある演奏や素晴らしいヴォーカルをお楽しみ下さい。

MC : ○ それでは皆さん、一緒に会場にいらっしゃる気持ちで楽しんで下さいね。

♪♪日米交流音楽会第二部・在日米軍軍楽隊の演奏♪♪

(演奏時間約45分)

MC : ○ いやー、どれも迫力ある素晴らしい演奏でした。思わず聞き入ってしまいました。放送をお聞きの皆さん、いかがでしたか。楽しんで頂けましたでしょうか。

○ A室長、久しぶりの開催となりいろいろと準備が大変だったと思いますが、素晴らしい音楽会になりました。本当にお疲れ様でした。

A : ○ ありがとうございます。まだまだコロナ禍が残る中での久しぶりの開催となりましたが、素晴らしい演奏を披露して下さいました。在日米軍軍楽隊、丹後吹奏楽団をはじめ、後援して頂いた京丹後市、京丹後市国際交流協会の皆さま及び各方面のご協力によりお陰様で盛況となりました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

○ 一方で今回、コロナ禍前のように地元の皆さんとの共演を実現することができなかったことが心残りです。今後は、是非、以前のような地元の皆さんとの交流を実現して行きたいと思います。

かい

MC : ○ 隗 より始めよ、まずは手近なできるところからですよ。引き続き、在日米軍と地元の友好の懸け橋としてこれからも大変でしょうが頑張ってください。

A : ○ ありがとうございます。頑張ります！それでは、最後になりますが、当日、お越し下さった皆さんから頂戴したアンケートから私の印象に残った言葉をこの場でご披露させていただきます。

MC : ○ よろしくお願ひします。

A : ○ まず、新型コロナ禍での開催ということもあり、久々に生演奏を聞く機会となった方が多かったみたいで、「久々の生演奏を聞き元気が出ました。」、「感動しました。」、「スッキリしました。」というご意見を多数頂きました。

○ その他にも、「演奏者自身が音楽を楽しみ、仲間と楽しみ、その楽しさがよく伝わってきた。」、「演奏は迫力があり、わくわくしました。」、「明日からまた頑張っていきたいと思いました。」、「活力が湧いてきました。」など会場にお越し下さいました皆さんが非常に楽しんで頂けたとのご意見を多数頂戴しました。

○ 先ほどMCさんにおっしゃって頂いたように、微力ながら、今後も在日米軍と地元との友好の懸け橋となり、お互いの理解、協力が進むよう頑張っていきたいと思ひます。

○ この放送をお聞きの皆さんには、前回と今回の2回に亘り最後までお付き合い下さいましてありがとうございました。

MC : ○ A室長、どうもお疲れ様でした。次回の放送も楽しみにしています。

○ 『防衛問答近中でござる』、この番組では2回に亘り、先日、京丹後市で開催された「日米交流音楽会」の様様をお送りしました。皆さん、楽しんで頂けましたでしょうか。次回の放送もお楽しみに。それでは皆さん、今回も最後までお付き合い下さいましてありがとうございました。さようなら。

(完)